

網 都 市 第 158 号

平成20年10月 6日

国土交通省道路局長 様

網走市長 大 場



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

網走市の位置するオホーツク地域は、広大な土地と共に、森、湖、海という豊かな自然が調和した、北海道のイメージを代表する地域です。

当地域の魅力ある特性と、市民生活や経済活動を支える最も基礎的社会基盤である道路との関わりを考えた時に、効率性のみをとらえた事業評価優先の道路行政が推し進められようとするに、憂慮せざるを得ません。これは、私たちの広大な地域の有する美しい自然環境や農林水産資源を守り育て、活用する施策に対し、道路の整備、維持・管理への事業評価は、相反する結果を生じさせることが考えられ、道路行政の視点に、地域の価値観を汲み取る姿勢が示されているとは感じられません。

国土形成計画は、すべての国民が安心して、豊かな生活を営むことのできる経済社会の実現を目的として策定されます。私たちの地域の魅力である広大な土地利用、自然の中に広域に分散した集落配置は、一方で公共交通機関の利便性・効率性が低く、道路は地域社会が成り立つために、最低限なくてはならないものです。人が暮らす地域によって、安心と豊かさに不平等があってはなりません。医療や教育、経済活動の基本的なチャンスは、どの地域も平等であるべきです。道路は、ナショナルミニマムの根本と捉え、代替交通システムを持たない地方の道路整備に目を向けていただきたい。

長年の道路整備により道路環境は充足され、これ以上の道路整備は不要で、道路予算にも余剰が生じているとの意見もあります。当市においても、幹線道路の整備や砂利道の舗装化など、道路環境は、昔と比べ大きく改善されました。しかし、未だに道路整備を求める市民の声が途絶えることはありません。通学路においても、歩車道の分離はもとより、舗装もされていない歩道や危険な交差点の改良、また、脆弱な舗装構成道路の打ち換えやバリアフリーへの対応など、以前にも増して、多様な要望が寄せられます。限られた予算の中から緊急性などを考慮し、市民の声に応える努力をしていますが、地方の道路行政は、道路譲与税や交付金だけでは最低限の管理費すらまかなえず、多くの一般財源を支出し、道路の整備、維持・管理を行っている状況です。当市の道路で、車と歩行者・障がい者が、安全・安心に通行し、環境にも配慮された、十分な機能を持った道路は、ほんの一握りです。多くの道路は、必要な機能が満たされていなく、地方の道路は、まだまだ整備を必要としています。

道路特定財源の一般財源化が進められようとしている今、地方の道路予算確保に大きな不安を持っています。地方に必要な道路財源の確保を保障する制度の確立を強く望みます。

○現状

オホーツク地域は、全国だけでなく、世界に誇れる数多くの農水産物を有しています。中国などへの輸出がここ数年急増をしていると共に、食糧自給率向上の推進に伴い、食糧供給基地としての役割がますます重要となっています。しかし、網走市をはじめとするオホーツク圏域は鉄路が廃止されるなど、主要港湾への輸送は峠越えを伴う陸路輸送を余儀なくされており、鮮度を保った安定食糧輸送への高い輸送コストや長い時間距離、貨物関連車輛の事故多発など、輸送の負荷も、ますます増大しています。

観光においては、網走国定公園をはじめ、周辺に世界自然遺産の知床、阿寒・摩周湖などの観光地を有していますが、魅力である雄大・広大な地域面積が逆に移動時間の長さにつながり、これが、来訪者の最大の負担、不満となっています。

○課題

網走市は、「北海道横断自動車道・網走線」の終点と位置付けられていますが、未だ予定路線であり、高速道路未整備地域です。網走港、女満別空港、更には、道外、海外への出荷の拠点となる苫小牧港とも連絡する高速道路ネットワークを持たないことから、無限の潜在力と可能性に恵まれた地域の資源を活かした、全国はもとより世界各国に向けた事業戦略も、未だ展開が見込めません。ネットワーク整備を終えた地域との格差が、ますます拡大していると感じています。

グローバル化時代の到来により地域、産業を取りまく環境は大きく変化しています。このことから、生産基盤の整備をはじめ、バイオテクノロジーなど新技術導入による技術力の向上や付加価値の高い新製品の開発に加え、異業種交流や産学官交流によって地場産業の育成、強化をはかります。

また、網走市のもつ自然条件や網走港、女満別空港とネットワークされる高規格幹線道路の良好な交通アクセス条件を生かしながら、情報ネットワークを活用して、先端技術産業などの立地を促進するとともに、特色ある自然などを生かした観光資源の開発・整備、観光関連産業などの積極的な振興をはかるなど、いきいきとした産業を育てる都市づくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式

北海道 網走市

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 高規格幹線道路整備による地域経済・市民生活の活性化	網走港、女満別空港などと高規格幹線道路整備による交通網の確立により、道外、また増加する東アジアからの観光客に効率よく共有できる交通サービスを提供すると共に、地場産品の高速性・定時性を確保した輸送効率の向上をはかります。	高速ネットワークの整備が、農水産物、観光資源などの地域資源のポテンシャルを最大限引き出し、来訪者の増加、農水産物の高品位化や販路の拡大につながり、産業振興など、地域や市民生活の活性化をもたらすとともに、地域経済、市民生活の自立・持続に寄与します。	
・ 地域活力の向上	冬期路面对策および防雪対策	オホーツク圏は、流氷など地域特有の観光資源を有しており、冬期路面管理の充実や冬期間の地吹雪などによる視程障害を抑止することにより、交通事故の発生や通行止めが解消され、救急活動、物流の安定効率化や冬期観光の確実性が図られ、産業・生活基盤が充実する。	